

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課	
I-1-1①	家庭児童相談室	元保健師、元保育士の相談員2名を配置し相談体制の充実を図った。	児童相談取扱件数 204件	児童福祉課
	地域子育て支援拠点事業	地域の子育ての拠点として保育園、公民館を活用し、体験保育・すこやかグループを通して子育てサークルの育成を図り、子育て全般に関する支援を行うなど、地域の子育て支援機能の充実を図った。	体験保育は4箇所の保育園で実施 すこやかグループの親子参加数66組	児童福祉課
	(子育てゆとり創造センター事業)	(地域子育て支援拠点事業に名称を変更)		生涯学習課
	スクールカウンセラーの配置	全中学校と、中筋小学校、伊保小学校、米田小学校、米田西小学校については県が配置。その他6小学校に市単独でスクールカウンセラーを配置し、児童生徒及び保護者の相談に応じた。	相談件数 小学校479件 中学校123 2件	学校教育課
	適応指導教室の充実	不登校児童生徒について、自主学習や個別学習、体験活動、イベント等を通して交流を深め、個々の悩みを聞いたり相談に応じたりすることで不安を解消し、学校生活への復帰を支援した。	相談件数 電話21件 面接19件	学校教育課
	少年相談	広報「たかさご」に相談案内を掲載するなど相談業務の周知を図った。相談者に対しては、的確な指導助言に努めた。	相談件数 電話42件 面接8件	学校教育課
	教育110番事業	子どもたちの様々な問題や、悩み等について電話で相談に応じた。	相談件数 46件	学校教育課
I-1-2②	子育て支援ネットワークづくり	子育て支援センターを拠点として、子育てサークルや子育て関係機関との連携を図りながら、子育て支援ネットワーク活動の安定した継続を図った。	グループ 40 延べ 940人	児童福祉課
	子育てマップの発行	今年度実施なし		児童福祉課
	子育て情報誌の発行	子育て支援センターにおいて、啓発情報誌「すこやか」「あそぼ」「子育てサークル紹介」「子育て応援情報」を発行した。		児童福祉課
I-2-1①	児童手当の給付	小学校6学年までの子育て家庭に手当を給付した。	延べ 117,642人	児童福祉課
	就学援助の給付	小学校実人員(1014人)、中学校実人員(497人)	就学援助 小 977人、中 486人 特別支援教育 小 37人、中 11人	学務課
	乳幼児医療費の助成	医療費の一部助成を継続して行った。	118,530件 受給者数7,509人	国保医療課
	保育所保育料の軽減	保護者負担に配慮し、保育料の軽減及び減免措置を行う。	対象者 59人	児童福祉課
	幼稚園保育料の軽減	幼稚園保育料の減免を40人に実施した。	40人	学務課
	学童保育料の軽減	母子世帯などの低所得者層を支援し、保育料を減免補助した。	全額減免延べ92世帯、半額減免延べ 13世帯	児童福祉課
	高等学校奨学金の給付	月額8,000円を155人に給付した。	155人 8,000円×1,790箇月	学務課
I-3-1①	子どものこころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減	母子保健推進委員が未受診児家庭を訪問し受診勧奨を行った。また育児相談等に応じる体制をとった。	随時 329人	健康増進課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
I-3-②	児童虐待防止ネットワークづくり	関係機関と密接な連携を図るとともに要保護児童対策地域協議会の効率的な運営を図った。	児童福祉課
		要保護児童対策会議に参加し、不登校・非行問題の解決に取り組んだ。	学校教育課 青少年補導センター
I-3-③	被虐待児童のケアと立ち直り支援	臨床心理士による子育て相談を実施した。	年間実施回数は22回、参加親子数51組 児童福祉課
I-4-①	「児童の権利に関する条約」の啓発	—	児童福祉課
I-5-①	相談活動	ひとり親家庭への母子自立支援員による相談活動の充実を図った。相談活動の充実に取り組んだ。	延べ 447人 児童福祉課
I-5-②	児童扶養手当の給付	母子家庭の生活支援のため給付及び制度の啓発に努めた。	延べ 9,821人 児童福祉課
	児童福祉金の給付	ひとり親家庭に引き続き助成した。	延べ 20,548人 児童福祉課
	母子家庭等医療費の助成	母子家庭等に引き続き助成した。	24,455件 受給者数2,354人 国保医療課
	母子援護事業	21年度は措置なし。	児童福祉課
	母子・寡婦福祉法関連事業	修学資金など貸付制度の啓発に努める。また母子相談業務の啓発を行った。	延べ 447人 児童福祉課
	ひとり親家庭生活支援事業	児童扶養手当等各種手当について市広報誌やHPIに掲載するなど制度の啓発に努め、生活支援を図った。	— 児童福祉課
	母子家庭自立支援給付金	自立支援教育訓練給付5人 高等技能訓練促進費等の給付延9人。	延べ 14人 児童福祉課
II-1-①	地域子育てネットワーク事業	声かけ運動や見守り運動をととして、地域の支援体制の確立に取り組んだ。	子育て家庭応援推進員 161人 活動員 1300人以上 生涯学習課
	ファミリーサポートセンターの設置	市民に対して啓発活動を強化し、登録会員を増やして活動件数の増加を図った。	登録会員369人、利用件数294件 児童福祉課
II-1-②	安全・安心のまちづくりの推進	PTAや地域の団体と協力し、子供の見守り活動を実施した。	通年 生涯学習課
II-1-③	子育て支援センターの整備	平成18年10月に整備、移転済み。	児童福祉課
	つどいの広場の設置	乳幼児を持つ親子が気軽に集い交流する場を提供した。また、地域の公民館に出向き、つどいの広場を開催した。	延べ参加数(親)1,926人(子)2,303人 児童福祉課
III-1-①	男女共同参画センター	女性カウンセラーによる「こころの相談」 女性弁護士による法律相談 センターからの情報提供「情報誌Cocot」の発行	631件 43件 2,000部×2回 市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	男性の家事・育児への参加促進	「パパと子の料理教室」 「男性の料理教室」	10組 21名 15名 市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	父親の育児への参加の促進	(子育て学習事業廃止により、子育て支援事業に移譲)	生涯学習課
	父親向けの育児教室の開催	21年度廃止	健康増進課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課	
Ⅲ-1-②	男女平等意識の高揚	地域子育て支援フォーラム等において、男女平等意識の高揚を図った。	1回実施 参加約600人	生涯学習課
		道徳教育等により、男女平等意識の高揚を図った。	全小・中学校	学校教育課
	子育て体験集の発行	—	—	児童福祉課
	児童福祉週間事業	市広報紙に掲載し、またポスターを掲示して啓発を行った。	1回	児童福祉課
Ⅲ-2-①	育児休業制度の普及・促進	「育児・介護休業法のあらまし」のチラシ配布 育児休業・介護休業生活資金融資制度の紹介	50部	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
		—	—	健康増進課
Ⅲ-2-②	職業能力開発と技術・資格取得の機会の情報提供	県及び関係機関の講座実施の情報提供 参考図書の出借	設置 72名	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	再就職を希望する者に対する情報の提供	ハローワーク加古川と連携し、求人情報の提供 再就職準備セミナーの開催	月2回更新 12名	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	働く場での母性保護や健康に関する相談の充実	電話相談及び面接相談を随時行った。	随時	健康増進課
Ⅲ-2-③	労働時間の短縮	「ワーク・ライフ・バランス」に関するチラシの配布及び啓発	広報掲載、職員研修54名参加	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	パートタイム、派遣労働者等の労働条件の向上	パートタイム労働法のあらまし(関連制度の解説)等のチラシの配布	設置	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	仕事と育児・家庭が両立できる制度の確立	再就職準備セミナーの開催 子育て支援情報の提供 マザーズハローワークの紹介	12名(再掲) 関係機関の情報提供、講座・セミナー 案内 チラシ及び支援者への情報提供	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
	仕事と育児・家庭が両立しやすい企業文化の普及	パンフレットによる啓発	情報誌による啓発、関連機関の情報提供	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
Ⅲ-3-①	乳児保育事業	入所希望者すべての受け入れに努めた。		児童福祉課
	延長保育事業	7時～19時までの延長保育を8園で、7時～20時までの延長保育を2園で実施した。	10園	児童福祉課
	一時保育事業	一時的に保育を必要とする児童の保育を行った。	6園	児童福祉課
	子育て家庭短期入所事業	母親の病気により一時的に児童の養育が困難となった児童を施設に保護した。	延べ 14日	児童福祉課
	休日保育事業	民間保育園1園で休日保育を実施した。	1園	児童福祉課
	病後児保育事業	民間保育園1園で病後児保育を実施した。	1園	児童福祉課
	特定保育事業	実施なし。		児童福祉課
Ⅲ-3-②	保育所の整備・機能の充実	荒井保育園の耐震補強工事とさつき保育園の移転改築のための工事設計委託。	—	児童福祉課
	保育所の適正配置	中筋幼稚園とさつき保育園とを統合し、幼保一体化を行う。		児童福祉課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目		実施状況	回数・人数等	担当課
	幼稚園・保育所の一体化	望ましい幼児教育推進委員会議において阿弥陀保育センターの取組、幼稚園・保育園の統廃合等について方策等を協議した。	望ましい幼児教育推進委員会 10回	学校教育課 児童福祉課
	保育士の資質の向上	年間研修計画に基づき、各種研修を実施した。	部外研修参加者 延べ22人	児童福祉課
	苦情処理委員会の設置	公立保育園に導入した苦情処理の仕組みを活用した。	公立保育園 10園	児童福祉課
	第三者評価システムの導入	検討中。		児童福祉課
Ⅲ-3-③	学童保育所の公立化	NPO法人高砂キッズ・スペースと協議した。		児童福祉課
	学童保育所の環境整備	10学童保育所にクーラーを設置した。		児童福祉課
Ⅳ-1-①	友・遊学習室	平成17年度より廃止		公民館
	子育て学習活動	21年度より、子育て学習事業廃止。		生涯学習課
Ⅳ-1-②	青少年仲間づくり事業	異年齢、世代間の交流を通じて、青少年の健全育成を図る。また児童の安全を守るため、見守り活動を実施した。	42回 27,960人	青少年課
Ⅳ-2-①	4歳児保育の推進	全園で2年保育を継続実施し、幼児教育を推進した。	全幼稚園 10園	学校教育課
	地域に開かれた幼稚園の推進事業	幼稚園・家庭・地域との連携をすすめ、地域に根ざした幼稚園教育を推進した。	全幼稚園 10園	学校教育課
	幼稚園・保育所の一体化(再掲)	望ましい幼児教育推進委員会議において阿弥陀保育センターの取組、幼稚園・保育園の統廃合等について方策等を協議した。	望ましい幼児教育推進委員会 10回	学校教育課 児童福祉課
Ⅳ-2-②	豊かな体験活動の推進	特別活動・総合的な学習の時間等において、体験活動を行った。	全小・中学校	学校教育課
	健全な心身を育てる教育の推進	道徳の時間や豊かな体験活動を通して、心の教育の充実を図った。	全小・中学校	学校教育課
	豊かな教育環境の設備整備	学校施設の必要な修繕を行い、教育環境の整備を図った。	幼稚園、小・中学校	教育総務課
		耐震補強工事	小学校2校 中学校1校	
		阿弥陀小学校移転改築関係(実施設計、道路拡幅、区域外流入管実施設計)		
		太陽光発電設備設置(実施設計)	小学校9校 中学校6校	
	地上デジタル放送整備工事	小学校9校 中学校5校		
少子化問題の啓発	次世代育成支援行動計画策定委員会を開催し、高砂市次世代育成支援後期行動計画を作成。少子化問題についても協議した。	3回	児童福祉課	

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
IV-3-① 図書館事業	毎月、おはなし会、えほんのじかんを、またクリスマスのえほんのじかんを行い、子どもに本の楽しさを伝え、子どもの想像力を豊かにし、心の育成を図った。 ・えほんのじかん等 13回 160人 ・おはなし会 12回 123人	25回・283人	図書館
公民館事業	中央公民館事業として、市民教養講座を9回実施、市民合唱団、少年少女合唱団については年間をとおして専門教育の場を提供した。地区公民館事業としては、ふるさと教室12回、あやめ学習室45回、ふれあい広場12回をそれぞれ実施した。	市民教養講座 469名参加 ふるさと教室 695名参加 あやめ学習室 1128名参加 ふれあい広場 331名参加	公民館
みのり会館事業	図書室を子供に開放し、書道教室(2教室)を実施、子供の育成を図った。	図書室利用者778人、書道教室86回実施	みのり会館
体育館スポーツ教室	小学生スポーツ教室(柔道・陸上・バレーボール・フットサル・ラグビー教室) 5月～3月	柔道28回・971人、陸上34回・1242人、バレーボール30回・651人、フットサル28回・309人、ラグビー36回・1386人	スポーツ振興課
広島平和の親子バスツアー	平和の尊さ、平和を守ることの大切さを親子で学ぶ機会を提供した。平成21年度は、平成21年7月24日～25日に実施した。	参加者：小学校3年生～6年生の親子13組26人	総務課
姉妹都市との交流事業	海外姉妹都市交流事業 受入時期：平成22年3月20～28日 受入人数：6名 受入内容：10周年記念事業として芸術家の受入れ		市民活動推進課 (国際交流)
親と子の水辺の教室	エコ教室サポートガイド事業を実施。	実施校：7校、参加数：817名	環境政策課
青少年仲間づくり事業	子ども会との共催により、他校区、異年齢とのふれあい活動を実施した。	26回 848人	青少年課
高齢者との交流事業	特別活動、総合的な学習の時間等に交流活動を行った。	全幼稚園 小・中学校	学校教育課
夏休み親子歴史体験教室	小学生の親子を対象に、「まがたま作り」、竜山石を使った「石工になろう」など体験講座を実施。	各1回実施	生涯学習課
移動歴史体験教室	教員対象の講習会を実施し、各学校に資料貸出。	各小学校1回実施 参加10人	生涯学習課
環境教育	小学校3年生を中心に、地域の人々の協力を得ながら自然を活用した環境体験学習を実施した。	全小学校3年生	学校教育課
乳幼児とのふれあい体験の推進	高校生と幼児との体験交流を保育園で行った。 中学生のトライやる・ウィークを保育園で受け入れ、ふれあい体験を行った。	保育園	児童福祉課
	トライやる・ウィーク等の機会を利用し、ふれあい体験を行った。	全中学校2年生	学校教育課
IV-3-② 子ども会活動への助成	子ども会活動の運営活動費を助成した。	10回 1,036人	青少年課
児童健全育成活動自主サークルへの支援	子育て支援センターを活動場所として提供した。また、出前講座を実施した。	出前講座5回実施	児童福祉課
IV-4-① 学校施設の活用	学校運営上支障がない限り、地域住民や子どもたちの交流促進の場として運動場、体育館等を提供した。		教育総務課
IV-4-② 開かれた学校づくりの推進	オープンスクールを実施し、保護者や地域住民に園・学校を開放した。	全幼稚園 小・中学校 3日～5日実施	学校教育課
	学校等を活用して「放課後子ども教室」を実施した。	約400回実施 延べ17,152人参加	生涯学習課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課	
V-1-①	公園・緑地の整備	—	建設課	
	自然とふれあえる環境の整備	市ノ池公園でのバーベキューサイトを開放し親子の交流を図った。	年間	建設課
	遊び場の充実	兵庫県が整備したあらい浜風公園の管理委託を行った。	年間	建設課
	授乳コーナー等の設置	—	—	児童福祉課
	各種行事の託児コーナーの開設	各種講座等への保育士の派遣	23名派遣	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
V-1-②	土地区画整理助成事業	—	建設課	
	福祉のまちづくり事業	福祉のまちづくり事業としては予算化はしていないが歩道、公園の安全対策を行った。		建設課
V-2-①	防犯体制の充実	青色防犯パトロールを実施し、児童の登下校時の安全を守った。(ガソリン代含む)	243日:9435km	危機管理室
		ネットランチャー等を幼稚園・小学校中学校に配付した。教職員を対象に研修した。各小・中学校で防犯訓練を実施した。	ネットランチャー 小10校 幼10園 防犯スプレー16校園 さすまた26校園	学校教育課
		公用車によるパトロール、下校時の見守り放送を実施。不審者情報メールを配信した。		青少年補導センター
		保育園職員に不審者対策の研修や訓練を実施し、園児への安全教育を充実させた。		児童福祉課
V-2-②	交通安全教室	保育園・幼稚園28園、小学校10校、中学校6校、高校2回、高齢者等を対象に交通安全教育を行った。	61回・4,991人	管理課
	チャイルドシート普及・啓発事業	子供の安全を守るため、チャイルドシートの啓発を行った。	幼稚園6回・199人／その他16回	管理課
	「とまれ」シールの設置	保育園・幼稚園出入口の飛び出し防止シールの老朽箇所を張替えた。		管理課
	道路の整備	沖浜平津線(小松原工区)、米田79号線、千鳥橋改良事業の道路改良により歩行空間の整備を実施した。	千鳥橋改良事業が完了し、21年10月9日に開通式を行った。	建設課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課	
VI-1-①	乳児保健相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	乳児・1歳6か月児・3歳児健診を毎月行った。内容は身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、保健師・栄養士・歯科衛生士等による育児相談。	35回 2,304人	健康増進課
	子どものこころの相談	1歳6か月児健診・3歳児健診時に、心理相談員が保育者の育児不安についての相談を個別に対応した。	24回 99人	健康増進課
	妊産婦等訪問指導	妊婦及び産婦の家庭訪問を行い、健康状態の把握、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。	随時 250人	健康増進課
	新生児等訪問指導	母親及び新生児の健康状態を把握し、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。	随時 469人	健康増進課
	ひだまりサロン	毎月1回、妊婦・1歳までの乳児の親を対象に、母親同士の交流の場づくりやテーマを決めて健康教育の実施、また保健師・助産師・歯科衛生士・栄養士等の専門職による各種個別相談を行い育児支援の充実を図った。	12回 764人	健康増進課
	おかあさんの育児教室	1歳6か月児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどものかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育園等との連携を実施した。	11回 412人	健康増進課
	乳幼児相談(電話・面接・家庭訪問)	保健師等が電話及び面接、家庭訪問により相談を行った。	随時 359人	健康増進課
	きらりんくらぶ	3歳児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどものかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育園等との連携を実施した。	12回 219人	健康増進課
	妊婦・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	養育支援ネットを推進し、医療・保健・福祉の連携強化を図り、早期支援を目指した。また、特定不妊治療費助成を行い、不妊への支援を行った。	特定不妊治療費助成事業 297件	健康増進課 (健康福祉事務所)
		妊婦健診に係る費用の一部を助成した。	随時 1,024人	
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4ヶ月未満の赤ちゃんのいる家庭に訪問スタッフ(母子保健推進員など)が子育てに役立つ情報と予防接種手帳を持って訪問する事業を、平成21年度より実施した。	470件	健康増進課
VI-2-①	小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	事故防止の健康教育の実施と「子どもの急病対応ガイドブック」の配布により急病時の対応を啓発した。	随時	健康増進課
	かかりつけ医の体制整備	乳幼児健診、ひだまりサロン等で啓発を行った。	随時	健康増進課
VI-2-②	一次救急医療	夜間急病センター、休日・祝日等の救急医療体制の推進を医師会等の協力を得て推進した。	随時	健康増進課
	二次救急医療	小児科二次救急医療体制について関係機関と調整及び連携を図った。	随時	健康増進課
VI-3-①	思春期保健対策の強化と健康教育の推進	10～20歳代を対象に、性や性感染症等の心身の悩みについて、定例相談を行った。	10回 10人	健康増進課
VI-3-②	こころのケア相談	年間30回医師による定例相談と、保健師により随時相談を行った。	30回 80人	健康増進課 (健康福祉事務所)
VI-4-①	もぐもぐの会	離乳食の初・中期と後期・完了期の学習及び調理実習を行った。参加者には仲間づくりができるよう配慮した。	10回 73人	健康増進課
	のびのびの会	廃止		健康増進課
	とんとん・コトコトの会	親子で調理実習をすることで、「食」への関心をたかめ、食育について学ぶ機会とした。	4回 76人	健康増進課

21年度 高砂市次世代育成支援行動計画に係る実施報告書

項目	実施状況	回数・人数等	担当課
VI-4-② 食を通じた豊かな人間性の形成	地産地消を学校給食に取り入れる。栄養教諭による授業研修会を実施した。	10小学校	学務課
	各幼稚園において食育を推進した。また、小中学校においても食育全体計画を作成し、各教科特別活動等の時間に計画的に食育を実施した。	全幼稚園 小・中学校	学校教育課
	給食を充実させることにより、園児・児童の心身の健全な発育を促した。また、地産地消に取り組み、旬の食材を給食に用い保護者にも啓発した。園内などで野菜栽培を行い、収穫の喜びを通じた食育を行った。	全保育園	児童福祉課
VI-5-① 療育相談 障害児保育・教育 言語発達相談事業	乳幼児等の中から・こころ・ことばの相談を毎月2回実施。小児科医の診察及び助言、保健相談・栄養相談・心理相談・理学療法相談等を継続することにより、母親の育児支援した。	24回 351人	健康増進課
	ことばや発達の面で、気がかりなところのある子どもの療育相談を行う「マミーサポート」を引き続き実施。		児童福祉課
	特になし。 (障害者相談支援事業の一環として相談があれば対応 実績なし。)	0	高年・障害福祉課
	加配保育士や介助員を配置し、発達段階に応じた指導の充実を図った。		児童福祉課
	特別支援教育についての研究を行い、一人一人に応じた、指導の充実を図った。	全小・中学校	学校教育課
言語発達相談利用者に補助金を交付した。	延113人	高年・障害福祉課	
VI-5-② 知的障害児通園施設(高砂児童学園) 心身障害児生活訓練指導事業 (肢体不自由児機能回復訓練) ホームヘルプサービス デイサービス ショートステイ	—		児童福祉課
	理学療法士による児童学園に通園する心身障害児に対する生活訓練指導	年間実施回数11回	児童福祉課
	※21年度より上記の事業に名称変更し、児童学園で事業を実施		児童福祉課
	居宅介護サービス費を給付した。(事業実績額、人数は者を含む。)	延532人	高年・障害福祉課
	障害児デイサービス費を給付した。	延27人	高年・障害福祉課
	短期入所費を給付した。(事業実績額、人数は者を含む。)	延242人	高年・障害福祉課
VI-5-③ 療育会議への参加	療育会議の企画及び実施	1回	児童福祉課 健康増進課 高年・障害福祉課
	特別児童扶養手当の給付	相談窓口でパンフレット等を配布説明し、広報たかさご・HPIに掲載して啓発を行った。	児童福祉課
	障害児各種手当の給付	障害児福祉手当を支給した。	延600人 高年・障害福祉課
VI-5-④ 重度心身障害児医療費の助成 介護用器具の助成(日常生活用具)	医療費の一部助成を継続して行った。	受給者数 100人 (実績額については障害者医療費全体)	国保医療課
	障害者に係る日常生活用具を給付した。(事業実績額、人数は者を含む。)	延211人	高年・障害福祉課